

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4



荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史

荻窪地域区民センター協議会では、地域の皆様のご協力を得て郊外住宅地・荻窪の歴史を掘り起こし、後世に伝えるプロジェクトに取り組んでいます。「荻窪の記憶」展はその成果の一端をご覧いただくもので、第1回の大田黒公園周辺、第2回为天沼に続いて、今回は、南荻窪と宮前の歴史へご案内いたします。

第1部 南荻窪

戦前の洋館や屋敷林が伝える郊外住宅地の歴史

第2部 宮前

武蔵野の新田開発にはじまる歴史

第3部 ゆかりの人々

文学者、芸術家、学者・文化人、芸能人、政治家・官僚



南荻窪・宮前の立地



南荻窪の洋館
国登録有形文化財 古宇田家住宅



今も残る宮前の生産緑地



与謝野晶子と鉄幹(南荻窪の自邸前) 堺市博物館蔵

杉並区立郷土博物館分館 区民参加型展示

開催期間：6月13日(土)～8月23日(日)

- 展示場所：郷土博物館分館 西棟1F展示室
杉並区天沼3-23-1(天沼弁天池公園内)
☎03-5347-9801
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：毎週月曜日と毎月第3木曜日(8月20日)
- ※土曜日は説明員がつかます(プロジェクトメンバーが対応)

荻窪地域区民センター 玄関ロビー展示

開催期間：9月5日(土)～11月8日(日)

- 展示場所：荻窪地域区民センター 1F玄関ロビー
杉並区荻窪2-34-20
☎03-3398-9127
- 開館時間：午前9時～午後9時
- 休館日：第2・第4月曜日と毎月20日
- ※9月19日(土)に講座「南荻窪まち歩き」を実施(P3参照)

これからのスケジュール

8月

- 6月13日(土)～8月23日(日)
郷土博物館分館でのパネル展示
「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」

9月

- 9月5日(土)～11月8日(日)
当センター玄関ロビーでのパネル展示
「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」
- 9月23日・30日・10月7日(※)
「おくのほそ道」を旅する」
講師 林誠司(俳句誌「海光」代表)
- 19日(土)「南荻窪まち歩き」
講師 松井和男(荻窪の記憶プロジェクト)
- 29日(※) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.347 10月・11月号発行

10月

- 8月15日・22日・29日(※)
「いきいき朗読教室」
講師 岡橋子(下ラマティック・リーディング講師)
- 16日(金)「荻窪のネパール人学校と多文化共生」
講師 シュレストアン・パール・マン博士
- 17日(土)「地域懇談会」
- 24日(土)「多肉植物のデザート風寄せ植え」
講師 吉野華恵(グリーンアドバイザー)

11月

- 14日(土)・15日(日)「おぎくぼセンター祭」
No.348 12月・1月号発行

12月

- 6日(日)「防災フォーラム」
(会場：西荻窪地域区民センター)
- 13日(日)「おぎくぼ寄席」

※イベント・講座等は変更になる可能性があります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先 ● 広報部 ● 総務部 ● 地域交流部

この街にこの人あり

小学校の英語教育を支えるJTEという仕事

～英語を通じて、子どもたちの世界が広がります～

今回は、日本人英語指導助手（JTE）として、杉並区の小学校で先生方とともに英語指導にあたっていらっしゃる石川玲子さん、清水有美子さん、小楠千佳さんにお話を伺いました。



■なぜJTEになられたのですか。

杉並区は小学校英語教育特区の認定を受け、15年前から英語教育が始まっていますが、人材育成も並行して進められ「すぎなみ地域大学」に講座（現在の「日本人英語指導助手養成講座」、以下JTE養成講座）が設置されてきました。石川さんは2期生、清水さん、小楠さんはその後輩です。清水さんは帰国子女であり長じて海外生活を経験、帰国後お子様方が世話になった小学校に恩返しをしたいという気持ちを持ったとのこと、小楠さんもご夫君の海外勤務の関係で海外生活を経験、米国が外国人に対し英語教育に熱心であること、ご自身も現地で英語を学んだ経験に照らして、日本でもやってみようと思われたとのこと。そして石川さんの場合、教員免許をもっているにもかかわらず、「地域大学」で学んだJTE養成講座が面白く、英語指導助手になるきっかけになったとのこと。

杉並区は小学校での英語教育の導入が早く、また学校をコミュニティ・スクールとすることを推進しています。後者はコミュニティが支える学校にという意味ですが、英語教育と無縁ではありません。JTEは「地域大学」などを通じてコミュニティが育てているとも言えるからです。JTE養成講座受講希望の倍率は常に高く、杉並区の英語人材は厚いとのこと。現在、石川さんは杉九小、清水さんは富士見丘小、小楠さんは西田小と松ノ木小で指導にあたられています。杉並区では現在約80名のJTEがいらっしやり活躍中です。



石川玲子さん



清水有美子さん



小楠千佳さん

お三人へのインタビューのきっかけは、今年5月の当センターの開催講座として予定されながらコロナウイルス禍のため中止となった『簡単英語でおもてなし講座』の講師陣が含まれていたことでした。同講座が改めて開催されることを願っています。

■どんな教育活動をなさっていますか。

2020年度から小学校の外国語は、「教科」の扱いに変わりました。これまでも「外国語活動」の名称で、低学年から英語に慣れ親しむことを目標に授業が行われていましたが、本年度から5、6年生は教科としての外国語に変わり、週2時間、年間で70時間、英語の基礎を身につけるための授業が行われるようになっていきます。なお、3、4年生の児童は引き続き「外国語活動」としての英語の授業が行われます。

教科となることで、児童の達成度の評価が始まります。まだ「聞く」「話す」だけでなく「読む」「書く」も加わりますが、小学校の英語は「語学」としてではなく、自然に言葉が出せることによるコミュニケーションの



教材の例

手段としての位置づけが中心であることに変わりはありません。子どもたちの適応力には驚くべきものがあります。街で会った子どもたちが授業時間の延長のように英語で話しかけてくれることもあります。

■これからの抱負はいかがですか。

今や周囲にはたくさんの外国人がいる時代です。英語はやはり国際語、子どもたちには外国人と英語によってコミュニケーションがとれることの楽しさ、世界から知識を得ることができること、日本語ができない人を助けることもできることなどを実感して欲しいとおっしゃいました。

そして、英語を通じて自由な発言ができることや積極性を体得し、そういった子どもたちに日本を変えて行って欲しいという思いも語られていました。

JTEに関する問い合わせ先

杉並区立済美教育センター教育指導係
電話:03-3311-0021

講座紹介

「おくのほそ道」を旅する

松尾芭蕉の「おくのほそ道」での、深川から大垣までの全行程の中から、特に味わいの深い箇所を鑑賞し、俳句の楽しさ、旅の楽しさを紹介します。芭蕉が歩いた行程を、プロジェクターを使った映像での解説もあります。

講師との質疑応答を通じて、理解を深めていただければと思います。



★日時:9月9日・23日・30日・10月7日 各水曜日(4回)午後2時～4時 ★定員:30名

★会場:荻窪地域区民センター第1、第2集会室 ★講師:林誠司氏(俳句誌「海光」代表)

※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」をご覧ください。

善福寺川があってよかった!

杉並区に善福寺川があってよかった。ここ数カ月の間に、そう思った人は少なくなかったのではないのでしょうか。

コロナ対策の自粛中、ほかに行くところも、することもない人々が、健康を考えて選んだのが善福寺川に沿った散歩だったからです。筆者も例外ではありませんでした。

善福寺池を水源に、区を斜めに横断し、中野区との境で神田川に合流する善福寺川は、杉並区だけで完結する川です。東京の川のご多分にもれず、コンクリートに固められ、巨大な地下調節池で管理されていますが、絶えず流れる水は、木々の緑とともに、町に特別な風情をもたらしています。



左の写真は、カルガモの親子。5月17日に西田端橋付近で彼らと出会ってから1カ月ほどの間、親子の姿を探すのが日課になりました。毎日、訪ねていると、川には思いがけず多くの生命が暮らしていることもわかりまし



た。カルガモ、コサギ、ゴイサギ、カワウ、カワセミ、セキレイ、コイ、スッポン、アオダイショウ……筆者が見かけた生きものたちです。

ところで、その昔、善福寺川の水でつくった氷が、夏の涼として、江戸、東京の町に届けられていたことをご存知でしょうか。これは、『杉並区史探訪』（杉並郷土史会刊）に載る古老の話です。「現在の置田橋のそばの水田で、善福寺川の水を凍らせて天然氷を作っていました。私が小学校に入学した頃（明治三十年）は、穴稲荷のトンネルに貯蔵していましたが、間もなく傍に氷土蔵が建ちました（中田喜一郎氏談）」

氷室に使われていた穴稲荷のトンネルは、中央線のガードの近くにあり、探検好きな子供たちの遊び場になっていたため、危険だと埋め立てられ、お稲荷さんは南荻窪の旧家・梅田家の邸内に移転して祀られています。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男



Q おしりを水面から出しているカモをよく見かけますが、いったい何をしているのでしょうか？

A 水草を食べている。
カモは基本的に草食で、潜水は苦手です。

※前回のコラムで、ノートル・ダムの歌を鉄幹の作としましたが、晶子の作の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

講座紹介

南荻窪まち歩き

パネル展「荻窪の記憶Ⅲ～南荻窪・宮前100年の歴史」（荻窪地域区民センターで開催）にちなみ、センターでのレクチャーののち、戦前の郊外住宅地の面影を求め南荻窪を歩きます。



写真は昨年度の講座より「荻外荘通りを歩こう」(2019.10..26)

- ★日時: 9月19日(土) 午前10時～12時
- ★講師: 松井和男(荻窪の記憶プロジェクト)
- ★みどころ: 与謝野公園、戦前に建てられた洋館、井荻町の区画整理事業を語る史跡など
- ★集合場所: 荻窪地域区民センター第4・5集会室
- ★定員: 15名

※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」をご覧ください。

いきいき 朗読教室

演劇のように登場人物の台詞を演じ分けるなど、ドラマチックな朗読を初歩から楽しく学びます。毎年好評の人気講座です。



昨年度の講座風景(2019.10.10)

- ★日時: 10月8日・15日・22日・29日(各木曜日)
- ★時間: 午後1時30分～3時30分
- ★講師: 岡 摂子(ドラマティック・リーディング講師)
- ★会場: 荻窪地域区民センター 第4・5集会室
- ★定員: 20名

※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため
ご協力をお願いします!

- 手洗い・手指消毒 ●マスクの着用
- 体調不良時の外出自粛 ●ソーシャルディスタンスの確保(できるだけ2メートル)
- 「3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)」を避けた行動



講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
「おくのほそ道」を旅する	松尾芭蕉の「おくのほそ道」で、深川から大垣までの全行程の中から、特に味わいの深い箇所を鑑賞し、俳句の楽しさ、旅の楽しさを紹介します。※詳細はP2参照 林 誠司(俳句誌「海光」代表)	9月9日・23日・30日・10月7日 各水曜日(4回) 午後2時～4時	30名	200円	8月30日(日)
パネル展 「荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前100年の歴史」	パネル展「荻窪の記憶」第3弾は、昭和初期に郊外住宅として発展した南荻窪と武蔵野の新田開発を担った宮前地区の歴史を取り上げます。この地区ゆかりの文学者や、文化人、政治家など28人も紹介。※詳細はP1参照	9月5日(土)～11月8日(日) ロビー展示/荻窪地域区民センターの 開館時間	—	無料	—
南荻窪まち歩き	上記パネル展にちなみ、与謝野公園のほか、戦前に建てられた洋館や文化住宅などを訪ね、郊外住宅地として発展してきた南荻窪を再発見します。※詳細はP3参照 松井和男(「荻窪の記憶」プロジェクト)	9月19日(土) 午前10時～12時	15名	100円	9月8日(火)
いきいき朗読教室	演劇のように登場人物の台詞を演じ分けるなど、ドラマチックな朗読を初歩から楽しく学びます。※詳細はP3参照 岡 摂子(ドラマティック・リーディング講師)	10月8日・15日・22日・29日 各木曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	300円	9月27日(日)
荻窪のネパール人学校と 多文化共生	世界で初めて荻窪に開校したネパール人学校「エベレスト・インターナショナル・スクール・ジャパン(EISJ)」の顧問理事(前理事長)が在日ネパール人と多文化共生について講演します。 シュレスタ・ブパール・マン博士	10月16日(金) 午後1時30分～3時	40名	200円	10月4日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

すぎなみ大人塾 荻窪コース 受講者募集

「新」荻窪はっけん伝 第1章

～今だからこそ知ろう・つながろう・伝えよう～

新型コロナウイルスの影響で「新しい生活様式」が求められ、地域で過ごす時間が増えた今、改めて荻窪について仲間と語り、共に考え、はっけんしたことを発表する連続プログラムです。本誌人気コラム「荻窪の記憶 こぼればなし」の松井和男さんもゲスト出演。地元で活躍する方のトークやワークで知見を広げ、新しい荻窪と仲間をはっけんしてみませんか。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止や開催方法を変更(オンラインの活用など)する場合がございます。

回・開催日	★講座のメインテーマ(ワークショップ等) ★ゲストトーク等
①9/19(土)	★仲間をはっけんの巻/オリエンテーション
②10/10(土)	★まちの「知りたい」をはっけんの巻 ★「タウンマガジンとオンライン」ogibon編集長 松崎淳一/バイオリニスト・尾池亜美(ビデオ出演)・荻窪音楽祭実行委員長・水島隆明
③11/14(土)	★「知りたい」を、実践の巻 ★「荻窪の野鳥」野鳥写真家・西村真一
④12/12(土)	★はっけん伝まとめの巻 ★「荻窪の記憶」荻窪の記憶プロジェクト・松井和男
⑤1/9(土)	★はっけん伝 仲間発表の巻
⑥1/30(土)	★合同成果発表会(13:30～17:00/セッション杉並)

- 開催日・内容:上表のとおり
- 時間:13:30～16:30(①～⑤回)
- 学びの案内人:高橋明子(僑エンバブリック)
- 場所:荻窪地域区民センター(①⑤回/荻窪2-34-20)消費者センター(②～④回/天沼3-19-16)ほか
- 対象:区内在住・在勤・在学の方
- 定員:20名(原則として6回とも参加できる方/抽選)
- 託児:あり(1歳～就学前 定員あり)
- 費用:無料(保険料等、一部実費負担あり)
- 申込締切:8/28(金)



メール申込フォーム

申込:電話・メール(タイトルに「大人塾荻窪コース受講希望」と明記)で、郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、年代、電話番号、託児希望者はお子さんの名前・年齢を、社会教育センターまでご連絡ください。

問い合わせ:杉並区立社会教育センター
電話:03-3317-6621(平日午前8時30分～午後5時)
mail:shakyo-c@city.suginami.lg.jp
主催:杉並区教育委員会

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

郷土博物館分館

問い合わせ: ☎5347-9801

西棟1階展示室(分館区民参加型展示)



荻窪の記憶Ⅲ

南荻窪・宮前100年の歴史

荻窪地域区民センター協議会では、地域の皆様のご協力を得て郊外住宅地・荻窪の歴史を掘り起こし、後世に伝えるプロジェクトに取り組んできました。「荻窪の記憶」展はその成果の一端をご覧いただくもので、今回は、中央線の南に広がる南荻窪と宮前を取り上げます。戦前に建てられた洋館や屋敷林が郊外住宅の風格を感じさせる南荻窪、いまも残る生産緑地が武蔵野の新田開発の歴史を偲ばせてくれる宮前、両地区の歴史へご案内します。

【開催期間】令和2年6月13日(土)～8月23日(日)

※詳細はP1をご覧ください。

西棟2階展示室(分館企画展示)

「杉並の高校野球 春夏熱闘の記憶」

～幻の大会から令和の大会まで～

昨夏の甲子園に区内の國學院久我山高校が出場したことは記憶に新しいかと思えます。2回戦での敗退となりましたが、最後まで諦めない姿勢、甲子園球場全体をを沸かせた大応援は全国の高校野球ファンの中でも記憶に残るものとなりました。杉並区からはこのほか3校が過去甲子園に出場しており、その「熱闘の記憶」を展示します。専大附属高校の前身でもある京王商業が出場した「幻の甲子園」にもスポットを当てます。

【開催期間】令和2年2月22日(土)～8月30日(日)

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観 覧 料:無料

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

8月25日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室

9月29日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。